

「Z会の映像」 教材見本

こちらの見本は、実際のテキストから1回分を抜き出したものです。

ご受講いただいた際には、郵送にて、冊子をお届けします。

※実際の教材は、問題冊子と解説冊子に分かれています。

16章 総合問題 16

問題

■ 予習

★★

【1】 次の英文の下線部を和訳せよ。

A.

著作権の処理上、英文を記載しておりません。

B.

5

著作権の処理上、英文を記載しておりません。

10

15

20

*Ardley : 「アーズリー (New York 北方の Westchester County にある住宅地)」

★★

【2】 次の英文を読んで、後の設問に答えよ。

5

著作権の処理上、英文を記載しておりません。

10

15

20

*demarcate : 「～の限界・境界を示す [定める]」

*abscond : 「姿をくらます ; 逃亡する ; 持ち逃げする」

- (1) 空所①に入れるのに適当な語を次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- a territorial
 - b contemporary
 - c primitive
 - d aggressive
- (2) 下線部②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦を和訳せよ。
- (3) 下線部⑧と異なる意味を表すものを下から1つ選び、記号で答えよ。
- a bring about
 - b give rise to
 - c keep up with
 - d result in
- (4) 下線部⑨と同じ用法の *as* を含むものを下から1つ選び、記号で答えよ。
- a *As it was getting dark, we soon turned back.*
 - b *As is often the case with him, he was late for school.*
 - c *You should have done as I had told you.*
 - d *Good as he is, he will never come out at the top of his class.*

★★

【3】 次の日本語の下線部を英訳せよ。

最近の若者は人と議論をすることが少ない。(1) 人と仲良くやっ払いこうとすることはもちろん結構なことだが、若者の中には人から嫌われることを極端に恐れている者もいるようである。(2) 彼らはいざこざを避けるために自分を抑え、その結果周りの人には彼らの本当の姿が見えなくなってしまう。

■ 自習

★★

【4】 次の日本語の意味を表すようにカッコ内の語句を並べ換えて英文を完成せよ。

- (1) 彼に会うとは思いがけなかった。〔3 語余分〕

He was () () () () ()
() ().

(a did / b expected / c I / d him / e last / f not / g person /
h see / i the / j to)

- (2) 1人くらい増えても減ってもたいしたことはない。〔3 語余分〕

One more () () () () ()
().

(a difference / b doesn't / c important / d isn't / e less / f make /
g much / h or / i reduced)

- (3) 彼が両親に手紙を書くのは金が必要な時だけだ。

() () () () () ()
() () he writes to his parents.

(a it / b money / c when / d is / e that / f only / g he /
h needs)

- (4) たいていの人は新聞を売店で買わずに家に配達してもらっている。〔1 語余分〕

Most people () () () () ()
() () () () at a newsstand.

(a have / b buying / c delivered / d their homes / e instead / f of /
g to / h a newspaper / i one / j it)

- (5) 必ずこれらの基本単語を暗記しなさい。〔1 語余分〕

Don't () () () () ()
() ().

(a fail / b these / c learn / d basic words / e to / f by / g heart /
h remember)

★

【5】 次の日本語の意味を表すのに最も適当なものをそれぞれ次の中から1つずつ選び、記号で答えよ。

(1) 彼が人間的弱さを持っているので余計彼が好きだ。

I like him all () for his human weakness.

a more **b** better **c** the better **d** the best

(2) それはまさしく総理大臣その人だった。

It was () a person than the prime minister.

a no more **b** no less **c** not more **d** not less

(3) 私はドイツ語なんか読めない。まして話すなんてなおさらだ。

I cannot even read German, () speak it.

a much less **b** much more **c** no more than **d** no less than

16章 総合問題 16

問題

【1】

A.

全訳

著作権の処理上, 英文の訳を記載しておりません。

B.

全訳

著作権の処理上, 英文の訳を記載しておりません。

【2】

解答

- (1) a (2) 「全訳」の下線部b, c, e, f, g, hを参照。
(3) c (4) b

解説

(1) 「人間もまた (a) な動物であるのに疑いの余地はない」という主張を裏付ける具体例が第2文以降に挙げられている。具体例はどれも「自分の領土を守ろうとする人間」についてであるので, a territorial を選ぶ。

○ territorial animal 「領土の動物」《直訳》→「自分の縄張りを守ろうとする習性をもった動物」

a territorial *adj.* 「領土の；土地の」

b contemporary *adj.* 「①同時代の；同時代に存在する ②現代の」

c primitive *adj.* 「①原始の ②原始的な ③根本の；基本となる」

d aggressive *adj.* 「①侵略的な；攻撃用の (⇔ defensive) ②積極的な ③自信たっぷりな」 *cf.* aggression *n.*

(2) b ◇ the entry of our houses by unauthorized persons 「許可されていない人々による我々の家への侵入」《直訳》

○ entry *n.* *cf.* enter *vt., vi.*

○ the entry of our houses の of は目的格関係を表す。Unauthorized persons enter our houses. の名詞化表現。

cf. 文法的関係を表す of

①主格関係 (of の後ろの名詞が意味上の主語になる)

(a) ‘行為者’ 「～が；～の」

(b) ‘作者’ 「～の著した」

(c) ‘it is ~ of A to ...’

「Aが…するのは～である」(Aは意味上の主語の働きをする)

②目的格関係 (of の後ろの名詞が意味上の目的語になる) 「～を；～への」

e.g. ① (a) the rise of the sun (日の出) < The sun rises.

(b) the plays of Shakespeare (シェイクスピアの劇)
< the plays written by Shakespeare

(c) It’s very kind of you to help me with my work.
(私の仕事を手伝って下さるなんて親切ですね。)

< You are very kind to help me with my work.

② the writing of a letter (手紙を書くこと) < write a letter

◇ unauthorized *adj.* 「許可のない」

cf. unauthorized ⇔ authorized 「①公認〔認可〕された ②権限を与えられた」
authorize *vt.* < authority *n.*

◇ ... is resented as much as the loss of ~ 「…は～の紛失に対してと同じくらい憤慨される」《直訳》

- resent *vt.* 「～に憤慨する」
cf. resent O (s) ... ing 「Oが…するのをひどく嫌う」
- as much as ～ 「～と同じくらい；～と同様に」
- the loss of ～ の of は目的格関係を表す。lose ～ の名詞化表現。
- loss *n.* 「①失うこと ②敗北 ③損失 ④減少」
- ◇ any property with which they may abscond 「彼らが持ち逃げするかもしれないいかなる所有物でも」《直訳》 which は any property を先行詞とする関係代名詞で、they may abscond with any property という関係になっている。
- property *n.* 「①財産；資産；所有物 ②（～の）所有権 ③特性；特質」
- they = unauthorized persons
- abscond with ～ 「～を持ち逃げする」
- ③ ◇ The presence of a stranger in the garden 「庭における見知らぬ人間の存在」《直訳》 The presence of a stranger の of は主格関係を表す。A stranger is present. の名詞化表現。
- ◇ ... is generally regarded as a threat, or at least as ～ 「…は普通、脅威として、あるいは少なくとも～としてみなされる」
- regard O as ～ 「Oを～とみなす」 2つの as ～ が続くので注意する。
- threat *n.* 「脅迫；脅し」 *cf.* threaten *vt.*
- ◇ a circumstance requiring investigation 「調査を必要とする状況」
- requiring ～ は a circumstance を修飾する現在分詞。
- investigation *n.* 「調査；取調べ；研究」 < investigate *vi., vt.*
- ③ ◇ Those of us who live in towns 「我々のうちで都市に住む者」
- those who ... 「…する人々」
この部分が文の主語になっている。
- ◇ accommodate ourselves to some degree to ～ 「～にある程度慣れる」
ourselves と to の間に to some degree が挿入されている。
- accommodate A to B 「AをBに適応させる」
- accommodate oneself to ～ 「～に慣れる；順応する」 (= adjust oneself to ～)
- to some degree 「ある程度は」 (= to some extent)
- ◇ the kind of congestion which seems to be an inevitable consequence of urbanization
「都市化の避けられない結果であるように思われる混雑し過ぎている状態」《直訳》
- a kind of ～ 「～の一種；～のようなもの」
関係詞節で限定されているので a が the となっている。
- congestion *n.* 「混み過ぎていること」 (= overcrowding)
- inevitable 「①避けられない；必然的な ②お決まりの」
- consequence *n.* 「①結果；成り行き ②帰結；結論 ③（影響の）重大性；重要性」
cf. consequent *adj.*
- ④ ◇ the closer we are packed, the more easily resentful of each other do we tend to become

- the 比較級 ..., the 比較級 ~ 「…すればするほど～」
- pack *vt.* 「～を荷作りする；詰め込む」 *n.* 「包み」
- ◇ the more easily resentful of each other *do we tend to become we tend to become* が倒置の形になっていることに注意。
- tend to ... 「…する傾向がある；…しがちである」
- become resentful of ~ 「～に憤慨する；腹を立てる」
- ⑨ ◇ *It is probably on this account that ...* 「…なのはおそらくこのためである」
- it is ~ that ... の強調構文。
- on this account 「この理由で」 (= for this reason)
cf. account *n.* 「①勘定書；勘定 ②報告；記述；話；釈明 ③考慮；配慮 ④重要性；重大さ ⑤理由；根拠」
cf. account for ~ 「～の理由を説明する」
account O C 「OをCだとみなす」
- ◇ many people find life in cities irritating and exhausting
- find O (to be) C 「OがCだとわかる；感じる」
O = life in cities, C = irritating and exhausting
- irritating *adj.* 「(人を) いらいらさせるような」
cf. irritated *adj.* 「いらいらした」 < irritate *vt.*
- exhausting *adj.* 「心身を疲れさせる；骨の折れる」
cf. exhausted *adj.* 「①疲れ切った ②使い尽くされた」 < exhaust [ɪgzɔːst] *vt.*
- ⑩ ◇ *It is also probable that ...* 「またおそらく…だろう」
- it は that 節を代表する形式主語。
- ◇ *it is because of the wider spacing between individuals which is usual in the countryside that ...*
「…なのは、田舎では普通である個人間のより広い距離のせいであろう」《直訳》
→ 「…なのは、田舎では普通、個人間の距離によりゆとりがあるからである」
→ 「…なのは、田舎では普通、個人間でもっと広い距離をとるからである」
it is ~ that ... の強調構文であることに注意。
- because of ~ 「～のために；～が原因で」 (= due to, owing to, on account of)
- spacing *n.* 「間をあけること；間隔」 < space *n., vi., vt.*
- which は the wider spacing between individuals を先行詞とする関係詞。
- ◇ rural folk are less tense, more neighbourly, and often better mannered than their urban counterpart
- rural *adj.* 「田舎 (風) の；田舎の人の；農業の」 (⇔ urban)
- folk *n.* 「①人々 (複数扱い) ② (one's folks で) 両親；家族 ③国民；民族」
- less tense = more relaxed
- tense *adj.* 「①ぴんと張った ②緊張した；張り詰めた；神経質な；(状況などが) 緊迫した」
- mannered *adj.* 「(通例複合語で) 行儀が…の」

e.g. well-mannered 「行儀のよい」 (⇔ ill-mannered)

○ counterpart 「(～に) 対応 [相当] するもの」

rural people に対応して their urban counterpart が続いていると考える。よってここでは urban people の意。

(3) lead to ～ 「①～に通じる；至る ②～を引き起こす；～につながる；結び付く」

a bring about 「～を引き起こす；～を成し遂げる」

b give rise to 「～を引き起こす；～のもとになる」

c keep up with 「①～についていく ② (研究などを) し続ける」

d result in 「～に終わる；～という結果になる」 → 「結果として～を引き起こす」

(4) この as は When animals … fight together, it is rare for them to inflict any serious damage upon one another の内容全体を先行詞とする関係代名詞。

a 暗くなってきたので、私たちはすぐに引き返した。〔理由を表す接続詞〕

b よくあることだが、彼は遅刻した。〔主節全体を先行詞とする関係代名詞〕

c あなたは私の言った通りにすべきだったのに。〔様態を表す接続詞〕

d 彼は賢いが、クラスで首位の成績を取めることは決してないだろう。

〔譲歩を表す接続詞 (形容詞・副詞など + as [though] + S V)〕

全訳

著作権の処理上、英文の訳を記載しておりません。

注

ℓ. 1 ◇ There can be no doubt that … 「…であることに疑いはあり得ない」

- can は「可能性・推量」を表す。
- doubt と that 節は同格。
- ◇ Even in circumstances *so* far removed from the primitive *as* contemporary Western civilization 「現代の西欧文明のように、原始文明から遠く隔たった環境においてさえも」
- so ~ as ... 「…と同じくらい～；…のように～」
- removed *adj.* 「(距離・関係が) 遠く離れた；隔たった」
circumstances を修飾している。
- the primitive 「原始的なもの」
'the + 形容詞' で抽象的意味「～なこと；もの」を表す用法。
- contemporary 「①同時代に存在する ②現代の」
- ℓ. 2 ◇ the countryside is demarcated by fences and hedges *many of* which ... 「田舎の土地は柵や生け垣によって境界を定めてあり、そのうちの多くは…」
- the countryside is demarcated by fences and hedges + many of the fences and hedges ... と考えられる。
- ℓ. 3 ◇ notices stating that ... 「…と述べている看板」《直訳》
- notice *n.* 「①注目；注意 ②通知；予告 ③掲示；看板；貼り紙」
- stating は notices を修飾する現在分詞。
- that ... は stating の目的語に当たる名詞節。
- ◇ trespasser *n.* 「不法侵入者」
- ℓ. 4 ◇ prosecute *vt.* 「① (調査・研究、事業など) を遂行する；行う ②～を起訴する」
cf. prosecution *n.*
- ℓ. 7 ◇ on a national scale 「国家的な規模においては」
- ◇ the invasion of the homeland by an enemy evokes a more passionately aggressive response than does a battle with the same foe on ~ 「敵による母国への侵略は、～における同じ敵との戦いよりもいっそう激しく攻撃的な反応を呼び起こす」→ 「敵が自国の領土を侵略すれば、その敵と～で戦うよりも、いっそう激しく攻撃的な反応を呼び起こす」
- evoke *vt.* 「① (賞賛・笑いなどを) 引き起こす ② (記憶・感情などを) 呼び起こす」
- than does a battle with ~ = than a battle with ~ does → does は evokes の繰り返しを避けて用いられた代動詞。a battle に長い修飾語が付いているので、does を主語 a battle の前に出した倒置の形をとっている。
- foe *n.* 「敵」 (= enemy)
- ℓ. 9 ◇ territory which belongs to neither 「どちらにも属さない領土」
- ℓ. 11 ◇ the packing together of people in cities 「人々を都市に詰め込むこと」《直訳》
- pack people together in cities の名詞化表現。
- 目的格関係を表す of。
- ◇ does not necessarily ... 「必ずしも…ない」《部分否定》
- ℓ. 12 ◇ detectable traces of the aggressiveness which once served to space out both

individuals and groups of men 「かつて個人間や集団間に間隔を置く役目を果たした攻撃性の、見つけることのできる痕跡」《直訳》

○ detectable *adj.* 「見つけ得る；探知できる」 < detect *vt.*, detective *n.*

○ trace *n.* 「跡；痕跡；形跡」

cf. trace *vt.* 「①～をたどる；探し出す ②（図面など）を敷き写す；トレースする
③（場所・由来・出所まで）～を逆上る」

○ aggressiveness *n.* < aggressive *adj.*

○ serve *vi.* 「①勤務する ②食事の世話をする」

serve as [for] ～ 「③（物・事が）～として役立つ」

serve to … 「④…する役目をする」

○ space out 「～を一定の間隔に置く」

ℓ. 17 ◇ be compelled to … 「…せざるを得ない」（= be forced to, be obliged to）

ℓ. 18 ◇ impulse *n.* 「衝動」

◇ solely *adv.* 「①1人で；単独で ②単に」（= only）*cf.* sole *adj.*

◇ as a result of ～ 「～の結果として」

ℓ. 21 ◇ it is rare, as you know, for them to inflict any serious damage upon one another

○ 主節の内容全体を先行詞とする関係代名詞の as。

○ it は to … を代表する形式主語。

○ for them は to 不定詞の意味上の主語。

○ inflict *vt.* 「①（損害・迷惑など）を与える ②～を苦しませる；悩ませる」

【3】

ポイント

この問題では、動名詞や名詞構文などを利用して、文を簡潔に引き締める工夫をしてみるとよいだろう。例えば、「人と仲良くやっ払いこうとすること」、「人から嫌われることを恐れる」などでこうした形が活用できるだろう。

解答

Young people today do not argue with others very much. (1) Of course, it's all very well to try to get along with others, but some of them seem to be much too afraid of being disliked. (2) They repress themselves in order to avoid conflict, and as a result the people around them never see who they really are.

別解

- (1) It goes without saying that trying to get along with others is a virtue, but it seems that some of them avoid arguments because of excessive fear of being unpopular.
- (2) By repressing themselves in order to avoid complications, they hide their true selves from the people around them.

解説

- (1) 構文の骨組みとしては前半と後半を並列関係の節とし、but で結ぶのが最も自然。前半は「人と仲良くやっ払いこうとすること」を動名詞または不定詞で表して主語とし、

不定詞にするのであれば形式主語 *it* で始めれば書きやすいだろう。後半は「何人かの若者」を主語とし、「…することを恐れている」を後に続けるか、*There are* 構文で始め、関係代名詞を用いて「…する若者もいる」とする構成が考えられる。

○「人と仲良くやっぴいこうとすること」は *try to get along with other people* [*others*] を動名詞、または不定詞にして表せばよい。

○「もちろん結構なこと」「もちろん」は *of course, certainly* など。「結構な」は、*be all very well ; be very good* が簡単だろう。*a virtue* (美德；徳目) とすることもできる。

「もちろん」の意味を強めるために *it goes without saying that …* や *needless to say* を用いてもよい。

○「若者の中には…もいるようである」は *some of them seem to …* で始めてもよし、*There seem to be some young people who …* の構文も使える。

○「人から嫌われることを極端に恐れる」に近い訳としては *be much too afraid of being disliked* や *have an excessive fear of being disliked* がある。「嫌われる」は *being unpopular* (人気がない；評判が悪い) としてもよい。あるいは発想を少し変えて、冒頭の文の「人と議論をすることが少ない」の内容を踏まえて「人から嫌われることを恐れて議論を避ける」と読み換えて *avoid arguments because of excessive fear of being disliked* としてもよいだろう。

(2) 文の組み立てとしては特に問題ないだろう。前半と後半を等位節としてつなげればよい。別の訳し方として前半も後半も「彼ら」を主語にして、「彼らは…することによって自分の本当の姿を隠してしまう」のようにとらえることもできる。

○「いざこざを避けるために」(*in order*) *to avoid conflict(s)* とすればよい。「いざこざ」は「口論；もめごと；困難な状況」と読み換えて、*conflict(s) ; quarrels ; trouble(s) ; complications* などを用いるとよい。

○「自分を抑える」の「抑える」は *repress* や *restrain*。「自分」は再帰代名詞 *themselves* の他に *their personalities* (自分の個性) のようにすることも可能。なお、ここは節で表現する代わりに *by repressing themselves* と動名詞句を使って表してもよい。この場合は次の「周りの人には彼らの本当の姿が見えなくなってしまう」は *repressing* の意味上の主語と合わせて、主語を「若者」とする文構成となるように注意する。

○「その結果」*and as a result* や *so that* で2つの節を結べばよい。

○「周りの人」*the people around them* または *those around them* が適切。

○「彼らの本当の姿」は節で表せば *who they really are*, 句なら *their true selves* とすればよい。

○「見えなくなってしまう」は「周りの人々」を主語とすれば *never [don't] see ; find it difficult to see* などが考えられる。「若者」が主語なら *hide* (隠す) とする。

【4】

解答

- (1) i - e - g - c - b - j - h (a, d, f が余分)
- (2) h - e - b - f - g - a (c, d, i が余分)
- (3) a - d - f - c - g - h - b - e
- (4) a - h - c - g - d - e - f - b - i (j が余分)
- (5) a - e - c - b - d - f - g (h が余分)

解説

- (1) He was the last person I expected to see.
 - the last ~ 「可能性が最も少ない~」
 - expect to ... 「...するだろうと思う」
 - the last person (that) I expected to see と関係代名詞が省略されている点に注意する。
- (2) One more or less doesn't make much difference.
 - does not make much difference 「あまり重要でない」
 - cf. *make no difference* (重要でない)
- (3) It is only when he needs money that he writes to his parents.
 - It is ~ that ... 「...なのは~だ」(強調構文)
- (4) Most people have a newspaper delivered to their homes instead of buying one at a newsstand.
 - have O 過去分詞 「Oを...してもらう」
 - instead of ...ing 「...する代わりに」
 - one = a newspaper
- (5) Don't fail to learn these basic words by heart.
 - Don't fail to ... 「必ず...しなさい」
 - ※ fail to ... (…しない) を否定することによって、強い肯定の意味を表す二重否定の表現。
 - learn ~ by heart 「~を暗記する」
 - ※ learn ~ by heart は、古風な表現なので、英作文ではあまり用いない。代わりに、memorize ~ を使うこと。ニュージャージー州出身のインフォーマントによると、learn ~ by heart を聞いたのは、小学生の時の1回だけだということである。

【5】

解答

- (1) c (2) b (3) a

解説

- (1) ○ all the better for ~ 「~なのでそれだけいっそう…」
 - the (副詞) 「その分だけ」
- (2) ○ no less a person than A 「Aそのもの; 本物のA」
- (3) ○ 否定文, much less ... 「まして…ない」
 - ※ 肯定文, much more ... 「まして…だ」の形は、今日用いられていない。